

伝えたい！
私の街の
産業ニュース

令和6年
11月発行
vol. 35



確かな技術と銘木が織りなす



時を刻む芸術



妻：碩子（ひろこ）氏、代表：道彦氏、子：匠平（しょうへい）氏

+

工房みち

+

代表 中川 道彦（なかがわ みちひこ）

住所：西東京市富士町 2-9-4
TEL：042-463-7898
HP：https://kobo-mici.com/

工房みち 検索

道彦氏は、元々服飾業界で働いていたが、趣味であった木彫りの個展を開催したところ、その作品が高い評価を受けたことで、木工製作の道へ進むこととなった。当初は、テーブルウェアや灯りなど、様々な木工製品を手掛けており、その中で家族の協力体制が確立し、道彦氏のデザイン・製作技術と妻の碩子（ひろこ）氏による仕入れ先の開拓によって、現在の時計とオルゴールが主力となった。



工房みちの機械式時計とオルゴール

家族の協力で 全国へ広がる工芸時計

屋久杉やシマグワなどの銘木を加工し、機械式時計やオルゴールを製作する「工房みち」が西東京市にある。代表の中川道彦氏を中心とした家族経営で、熟練された繊細な技術を用いて、木の持つ個性を活かしたデザインに加工し、独創的な製品を生み出している。「工芸時計はサイズ、デザイン、木材の種類、色など、一つ一つに個性があります」と道彦氏は語る。数年から数十年かけて自然乾燥させた銘木を選別し、木目を活かして一つ一つデザインする。塗装は木造文化財の修復用に開発された特殊塗料を使用し、銘木の持ち味を活かしている。機械部分は、ドイツの有名時計メーカーや日本の老舗オルゴールメーカーから、優れた製品を仕入れるというこだわりだ。

工芸時計では 唯一無二の工房

より多くの方へ 時を刻む喜びを

念日のプレゼントとしてもお客様の心を掴んでいる。そしてその評判から、展示販売会への出展は全国に広がっている。また、展示販売だけでなく、工房で直接お話を伺い、お客様の要望に応じてオーダーでも製作している。

これまで百貨店中心の展示販売であったため、コロナ禍のイベント自粛などで大きく影響を受けた。そのため、新たな販路開拓に着手しており、法人向けの記念品やふるさと納税返礼品の参入も視野に入れている。また、ご子息の匠平氏が4年前から事業に参画し、通販サイトの立ち上げやスマートフォンケースの製作など、若い世代にも親しみやすい製品を準備中だ。「若い目線で新しい製品を開発し、より幅広い層のお客様に、工房みちの作品に触れていただく機会を創出したい。」と道彦氏は語る。



事業承継個別相談会 開催中！

国が運営している「東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター」の専門相談員が事業承継に関するアドバイスを行います。事業承継・引継ぎについて考えている中小企業経営者、市内の事業を引継いで創業を検討している方など、お気軽にお問い合わせください。詳細、お申込はホームページをご確認ください。

無料

完全
予約制

秘密
厳守

